

健診は基本的には
当日設営・当日撤収です。
車両⇔荷物運び、
設営・撤収は

【全員の仕事】です。

ご自身の担当で使用のもの以外も積極的に協力して準備・撤収をおこなって下さい。

※大きな健診の場合は
事前に設営がされている場合があります。



つい立 (縦棒)



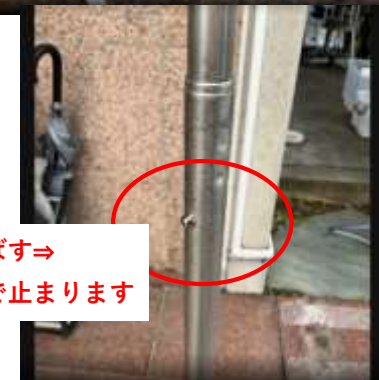
①垂直に立てたら、
↓ストッパーで倒れないように固定



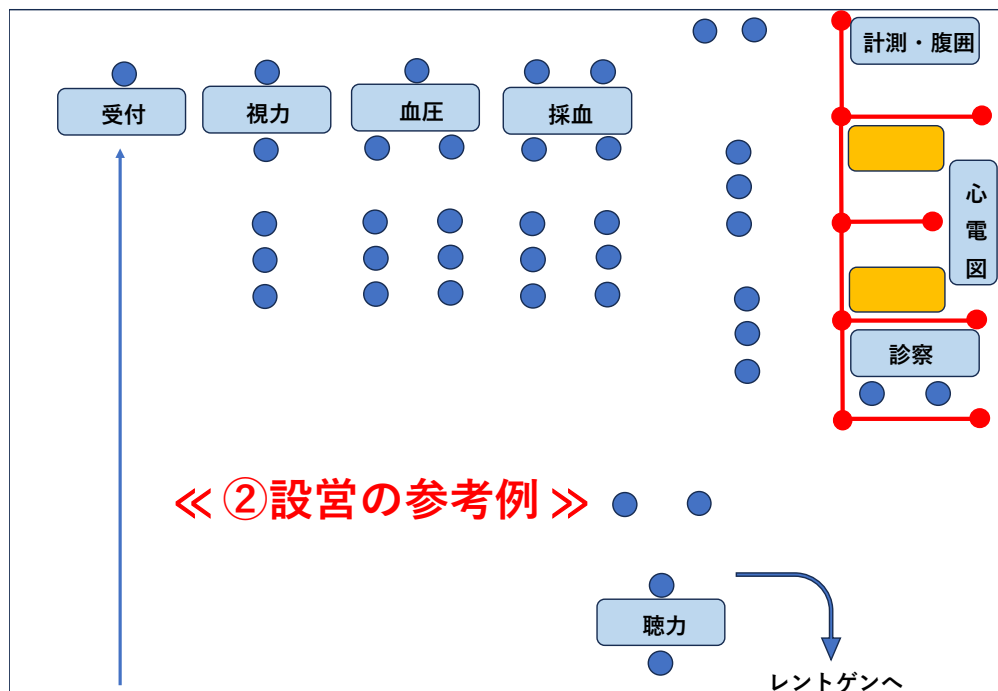
つい立 (横棒)



縦棒は一番上まで伸ばす⇒
こちらもストッパーで止まります



縦棒の穴を、縦棒の上部に挿して固定

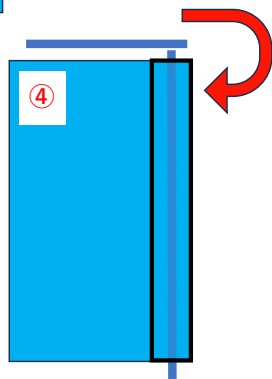
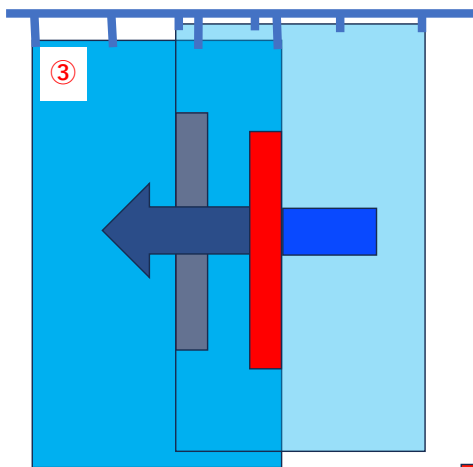


《 ②設営の参考例 》

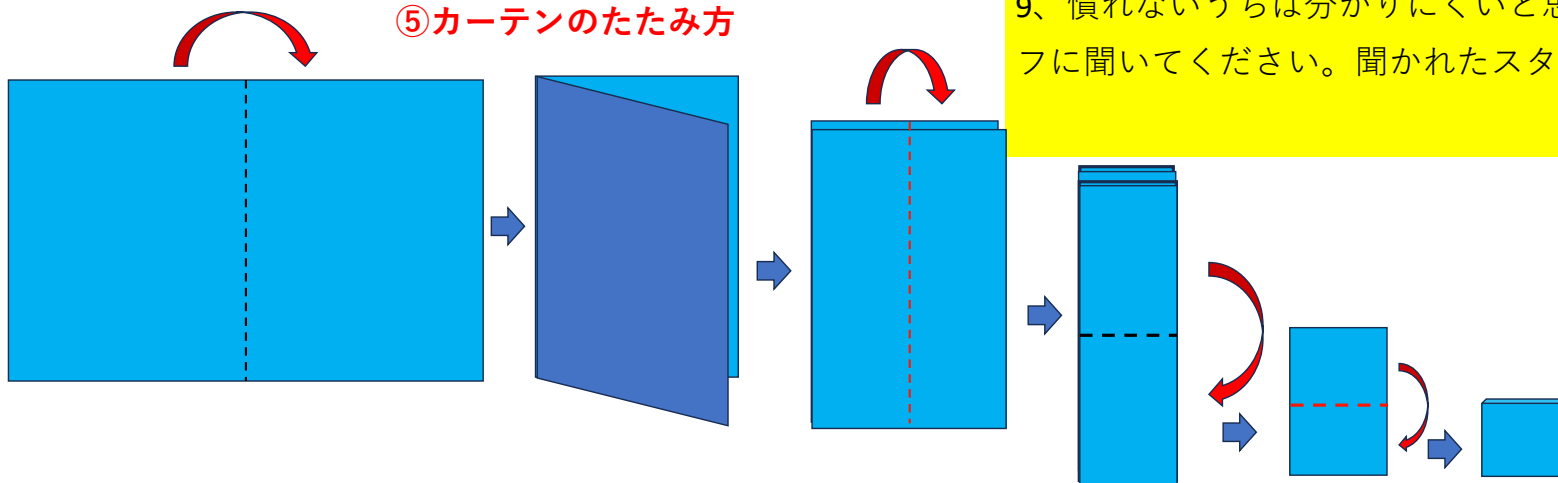
●つい立、カーテンの設置・撤収について

1、H型のポールを立て、その上部に横棒をセットします。※①：画像の注意点をご確認ください。

2、設置場所は、腹囲測定・心電図・診察などのスペースで、部屋数は健診ごとに異なるため、責任者や他のスタッフに設置場所や部屋数を確認してください。※②



⑤カーテンのたたみ方



3、部屋の枠組みができたなら、カーテンを設置します。

赤いテープが付いた部分が入り口となりますので、2枚を”少し”重ねるようにして、中が見えないように、かつ出入りしやすいように設置します。※③、⑦

※：婦人科のカーテンは多く使用し、多少出入りがしづらくても、ちょっとしたことで中が見えないようにしてください。

4、部屋の隅になるカーテンの端の部分は、引っ張ってもずれないようにセットしてください。※④

5、検査の場所に、該当の看板を設置します。

※壁にテープでの設置が駄目な現場がありますので注意！

6、カーテンのたたみ方、縦で2回、横で2回折りたたむ※⑤

7、解体時は、H型の縦棒7本、横棒6本揃えて専用袋に入れる。

8、カーテンは、通常のカーテン6枚と幅のせまいカーテン1枚（以下、小カーテン）をカーテン専用の袋に入れます。小カーテンが無い場合は、通常カーテン6枚で大丈夫です。

9、慣れないうちは分かりにくいと思います。その場で慣れてるスタッフに聞いてください。聞かれたスタッフは丁寧に教えてください。

⑦ つい立・カーテンの設営 参考例 (●：つい立縦棒、—：つい立横棒、—：カーテン)

